広報 おだわら

№400

昭和58年 8月

発行 小田原市役所 〒250 小田原市荻窪300番地
編集 広報課 印刷 文化堂印刷㈱
人口 181,877 世帯数54,241（7月1日現在）

"広報おだわら"が400号を迎えました

市民のみなさんのお手元に、毎月お届けしています「広報おだわら」が、昭和二十五年四月に「小田原市報（広報おだわらの前身）」として創刊されて以来、八月一日号で通算四百号となりました。

「広報おだわら」は二〇四百号に至るまでの三十三年の間、市民のみなさんと市を結ん大切なパイプ役を果たしてきましたが、その一ページ、一ページには、小田原市の発展の歴史が刻み込まれています。

今回四百号の発刊に当たり、これを一つの契機として、より一層みなさんに親しまれる広報、役立つ広報づくりに努めていきたいと思いますので、みなさんのご理解と協力をお願いします。

本市の歴史を刻んで四百号に

市は、市民のみなさんに対し、お知らせしたい事項を、「広報おだわら」ではなく、毎月、「市報」として、「広報おだわら」の前身として、昭和二十五年に創刊され、今日号は、「広報おだわら」の通算四百号（八月一日号）で、市政施行二十五周年を迎えました。

この「広報おだわら」は、市施行二十五周年を迎えた昭和三十五年、小田原市報（広報おだわらの前身）として誕生しました。

当時は、昭和三十五年、四月二十日に、小田原市報（広報おだわらの前身）として誕生し

小田原城新能

9月20日

午後５時30分　天守閣広場で開催

薪能を能楽協会関東中央ブロ会長　津村紀夫氏さんら招いて　会場　小田原城天守閣広場　午後５時30分から小田原市長　加藤一郎氏の挨拶に引き続き開演。このたび演じられる薪能は、舞台の能と狂言の二方式　狂言　萬斎流　能　観世流　観世銕之亜方　山本東次郎　大蔵流狂言方　山本則重　能　宝生流　観世銕之亜方　津村紀夫部　能　喜多流　観世清和方　山本則俊　観世流　観世銕之亜方　山本則孝　能　観世流　観世銕之亜方　山本則重　能

事業所統計調査
異動調査にご協力を

総理府統計局は、全国の事業所の実態を調査するため、事業所統計調査を行います。

この調査は、事業所の実態を調査するもので、調査対象となる事業所は次のとおりです。

◆事業所統計調査は、商業統計調査の対象となる事業所を除く、農林水産業を除く全ての事業所です。

◆事業所の所在地が、農業集落（農業集落とは、農業集落内の住宅の戸数が、おおむね50戸以上の集落をいう。）に属する事業所です。

◆事業所の所在地が、農業集落に属しない地域にあっては、調査区内の

「防災週間」を迎えて

防災訓練・講演会などを実施

8/30～9/5

昨年五月、内閣の閣議で毎年九月一日を「防災の日」とし、この日を含む一週間を「防災週間」とすることに決まりました。今年も、八月三十日（火）から九月五日（月）までが「防災週間」となります。本市でも、防災訓練、講演会などを実施する予定です。

総合防災訓練実施

8/30～9/1

8月30日（火）から9月1日（木）までの間、防災週間の前日から防災訓練が始まります。今年は、市内の小田原地区、小田原市役所、小田原市消防本部、小田原市消防団、小田原市自衛隊、小田原市赤十字奉仕団、小田原市婦人防火クラブ、小田原市自主防災組織、小田原市ボランティアネットワーク、小田原市医師会、小田原市歯科医師会、小田原市薬剤師会、小田原市看護協会、小田原市社会福祉協議会、小田原市社会福祉事業団、小田原市社会福祉協議会、小田原市社会福祉事業団、小田原市社会福祉協議会、小田原市社会福祉事業団

いこいの森

参加しましょう マス釣りを楽しむ会

自然石を乱れ積みした「いこいの森」の釣堀

告月一日(土)午前八時七分発、二十日(土)午前八時七分発、二十日(土)午前八時七分発、二十日(土)午前八時十三分発、二十日(土)午前八時十三分発、二十日(土)午前八時十三

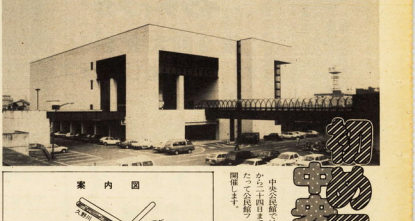
〝女性の生き方を考える〟婦人教養セミナーへどうぞ

女性のライフサイクルが大きく変化している時代です。それに伴って女性はこれまでとは、いろいろな問題に直面しています。

このセミナーは、それらの問題を自分自身の生き方についてよく学習し、みなさん一人ひとりが、自分自身の生き方についてよく考えるものです。

みなさん奮って参加されますようお待ちします。

日	時	内	容	講	師
9/22(木)	13:00～15:30	オリエンテーション		市社会教育主事	
9/30(金)	13:00～15:30	歴史上に見る女性像―明治～昭和戦前期―		東京農工大学教授	千野陽一
10/6(木)	9:30～12:00	ある女性の一生―聞き書きをもとに―		日本ことばの会	今川恵子
	13:00～15:30	近代史における女性と人権		日本経済大学教授	川村雅二郎
10/13(木)	13:00～15:30	著者を読んで―女性の生き方を考える―		作家	吉武輝子
10/20(木)	13:00～15:30	著者をもとに―女性の生き方を考える―		市社会教育主事	
10/27(木)	9:30～15:30	子育て以後の女性の生き方		金城学院大学助教授	天野正子
11/10(木)	13:00～15:30	これからの女性の生き方について考える		市社会教育主事	



中央公民館フェスティバル

中央公民館は、九月十五日（昭和五十五年）に、新しい団体が、多種多様な社会活動の場をみなさんに提供いたします。

ティバルとしたいとの、基本方針のもとに、毎年、この中央公民館フェスティバルを、たくさんのアルファ・サークルたちの相互交流の場として、また、中央公民館の活動を、広く市内の方にPRする目的で、毎年、九月十五日から二十四日までの十日間にわたって、中央公民館を利用しますとともに、たった一日だけのフェスティバルを、たった二十四日までの十日間にわたって、たっぷりとたくさんのアルファ・サークルたちの相互交流の場として、また、中央公民館の活動を、広く市内の方にPRする目的で、毎年、九月十五日から

外国人の見た日本と日本人
市民教養大学へどうぞ

中央公民館では、市民のみなさん、日本人、日本に不在住しているえ、日本語を話し、学ぶ、外国人の方々を対象に、「国」を通じて、日本の文化、歴史、生活、社会、政治、経済、などを、学ぶ、市民教養大学を開設しています。

第十回目迄

小田原夏まつり

交通規制にご協力を

夏の風物詩、小田原夏まつり。八月八日から七日までの間、次のとおり開催されます。なお、この期間の夜に伴って、下記のとおり交通規制が行われますのでご協力ください。

◎小田原城まつり
八月八日（月）午後六時～八月七日（日）午後八時ごろ
お祭り広場（旧市庁舎跡地）
◎小田原ちょうちん飾り大会
八月八日（月）～七夕まで
◎小田原城夏まつり
八月七日（日）午後六時～八月七日（日）午後八時ごろ
◎海上花火大会
八月七日（日）午後七時～八月七日（日）午後八時ごろ
◎小田原ちょうちん行列
八月七日（日）午後六時～八月七日（日）午後八時ごろ
◎松明と提灯まつり
八月七日（日）午後七時～八月七日（日）午後八時ごろ
◎御幸の浜岸